



士魂商才とは何か

魂と経済を一致させる生き方

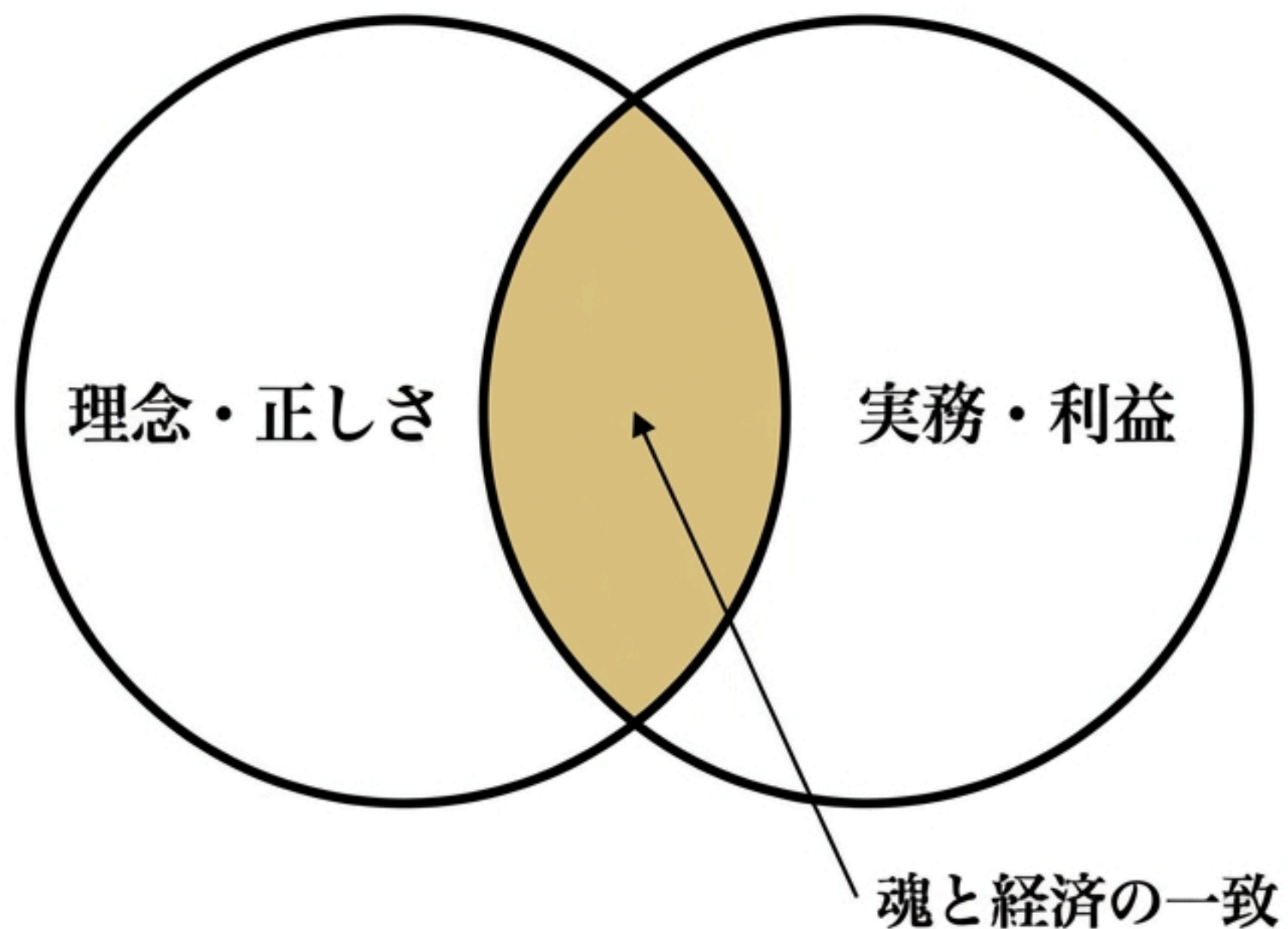
TAOISM 

起源



渋沢栄一が提唱し、
出光佐三が体現した哲学。

侍の魂を持ち、 商売の才を持つこと。



本質は「魂と経済の一致」

- ・理念だけで現実が回らない。
- ・利益だけで信頼が崩れる。

現実には「何を考えているか」ではなく、「どう機能しているか」で測られる。

偏りがもたらす破綻

【魂なき商才】	【商才なき魂】
現象：利益は出る。成長もする。	現象：理念はある。志もある。
結果：倫理が崩れ、暴走する。	結果：経済が回らず、停滞する。
末路：信頼の喪失。	末路：持続不可能。

なぜ「一致」が必要なのか？



すべては「持続性」の問題である。

どちらが欠けても、長期的な営みは必ず破綻する。結果として続かない。

主従の整合

【主】 魂

方向を決める



【従】 商才

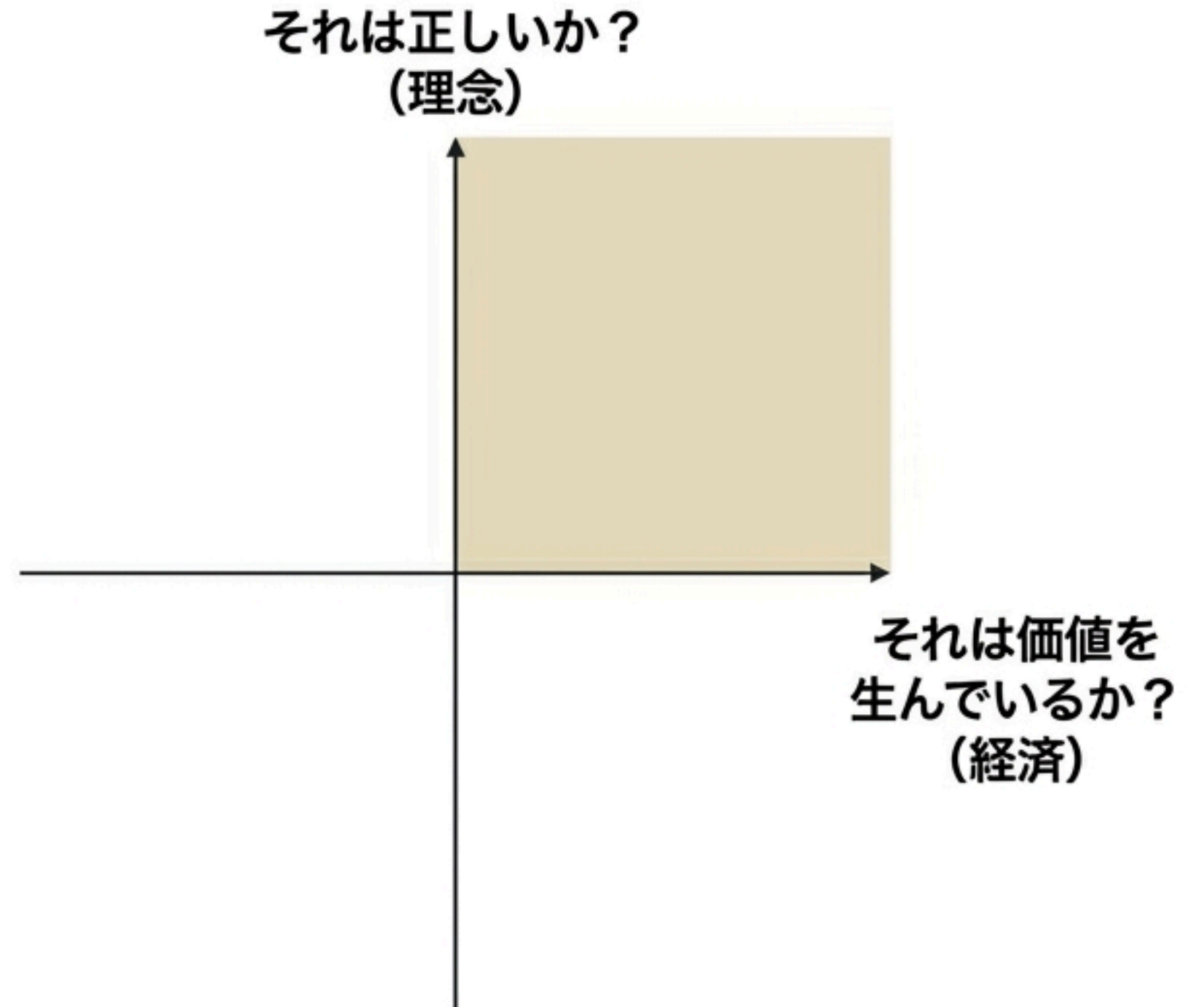
実現する

この順序が崩れると、すべてが歪む。

「金を尊重せよ。
しかし金の奴隷になるな。」

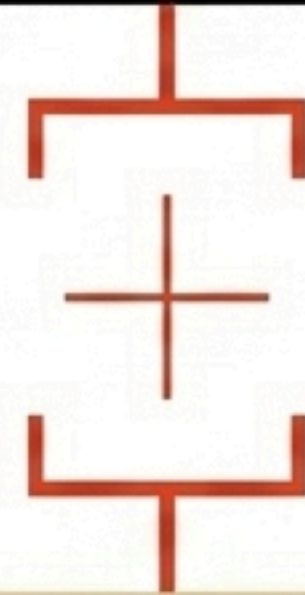
実践ステップ①：判断基準を明確にする

常にこの「二軸」で意思決定を行う。
どちらか一方を満たすだけでは足りない。両立する道を探る。



実践ステップ②：ズレを確認する

言っていること / 理念



ここに「微細なズレ」がないかを常に検証する。

やっていること / 実際的意思決定

実践ステップ③：経済を整える

1.
利益構造の
理解
どこから価値が
生まれている
か。

2.
持続可能性
単発ではなく、
循環する形に
する。

3.
無理な拡大の
抑制
身の丈を超えた
膨張を戒める。

実践ステップ④：自分を客観視する

日々の「微細なズレ」を修正する土台作り。

- ・ 十織、五省
- ・ 瞑想を通じた内省

問いを持つことをやめたとき、ズレは一気に広がる。

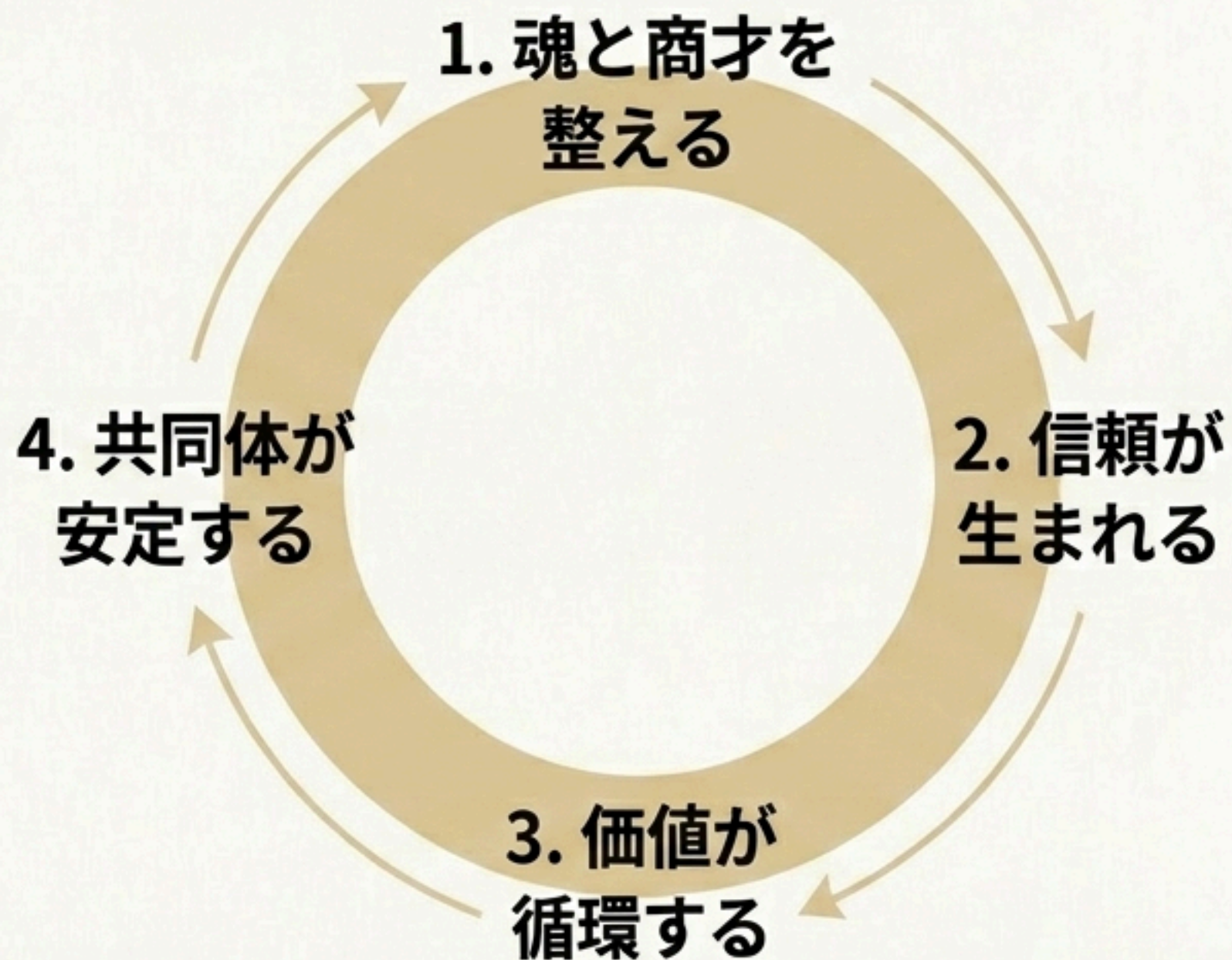
人は必ず慢心する。

「儲かっているから、正しい」
という錯覚。

「正しいことをしているから、十分だ」
という誤解。

あなたは今、過去の自分と戦えているか？

TAOISMの教え：価値と信頼の循環



「道とは、本質を見抜き理屈を理解し徳を磨き現実で機能させること。」
誰かのために価値を生み、徳をもって経済を回す。それが長く続く在り方である。

あなたは今、魂で動いていますか。
それとも、流れに動かされていますか。●

その問いに向き合うこと。それが士魂商才の第一歩。

